

環境方針

サンゲツグループ企業倫理憲章

企業は社会の公器であり、健全な事業活動を通じて収益をおさめ、活力ある発展と社会への還元を図らねばなりません。サンゲツグループは、その基本的な考え方に基づき、価値ある商品とサービスを提供することにより、豊かな住生活の実現に寄与し、社会に貢献します。

そしてその実現にあたって、サンゲツグループでは「企業倫理憲章」として5つの原則を掲げ、持続的発展に向けて自主的に行動します。

地球環境を守るために

地球環境問題への取り組みは、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動します。

※ 「サンゲツグループ企業倫理憲章」から、環境に関する記載を抜粋

環境方針

当社では、環境保全に取り組んでいくことは、より良い住空間を提供する企業として当然の責務と考え、環境理念・環境方針を定めています。この方針に基づき、環境マネジメントシステムを運営し、継続的な環境保全活動を推進します。

※ 2001年6月「ISO14001」認証取得

基本理念

サンゲツは、快適な住空間の提供を通じ、より豊かな生活を実現するための役割と責任を担っている。当社の事業活動は環境との関わりが深く、その活動の中で環境保全に取り組んでいくことは、企業として当然の責務である。これらの観点から、自らの事業活動における環境負荷の低減はもとより、地球環境の保全に配慮し、より良い住環境の創造に努める。

基本方針

1. 環境マネジメントシステムの推進にあたり、環境目的及び環境目標を設定し、継続的改善を行い、企業活動と地球環境保護の両立を図る。
2. 適用可能な環境保全に関する法令及び当社が同意する要求事項を遵守する。
3. 商品の開発、生産、流通、使用、廃棄のすべての段階において、環境影響要因物質の使用の回避、廃棄物の削減、リサイクル、省エネ・省資源に努める。
4. 環境方針や環境管理活動への社員の理解と意識の向上を図るとともに、関係者へも環境方針を周知し、理解と協力を要請する。
5. この環境方針は、一般に公開する。

ESG/CSR方針

中期方針

1. サンゲツグループの事業全体の環境負荷を把握。
2. 地球温暖化防止や持続可能な資源循環に向けての体制を構築。

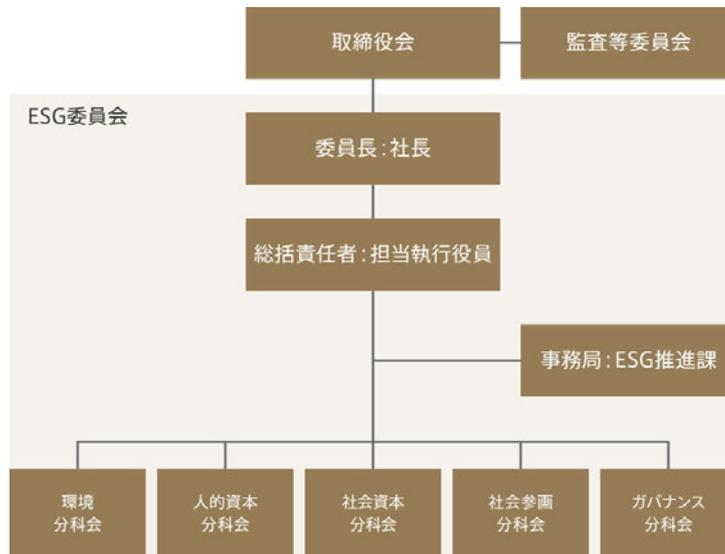
実践内容

- ①事業活動における環境負荷の低減
 - GHG排出量の削減
 - エネルギー使用量の削減
 - 廃棄物総廃棄量の削減
 - リサイクル率向上
- ②サプライチェーンにおける環境負荷の把握と低減
 - サプライヤーごとのGHG原単位の把握と、調達活動での考慮
- ③ロングライフ商品の開発・拡充
 - 高耐久性商品の開発、長期継続品の拡充
- ④見本帳の回収・リサイクル体制の構築と拡大

ESGマネジメント体制

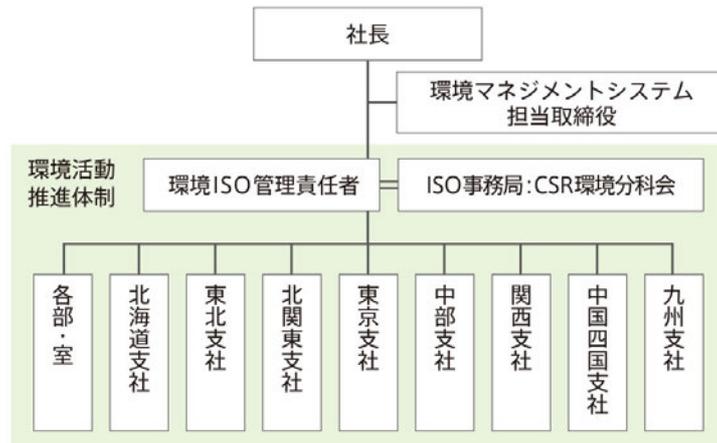
当社は、企業の社会的責任を果たすため、2016年4月にCSR推進課を新設、2017年4月には全社を横断的に統括するCSR委員会を設置するとともに、さまざまなCSRガイドラインに対応すべく、分科会を設置しました。その上で、実効的なCSRマネジメントを行いCSR体制を強化、社会課題解決に向けた取り組みを進めています。気候変動を含めた環境課題については、環境保全分科会での取り組み事項として上位機関を通じて取締役会への報告と対応を行っています。

2020年11月からは、ESG全般を推進する部署としての位置づけを明確にすることを目的として、ESG推進課、ESG委員会に名称変更しております。



環境マネジメント推進体制

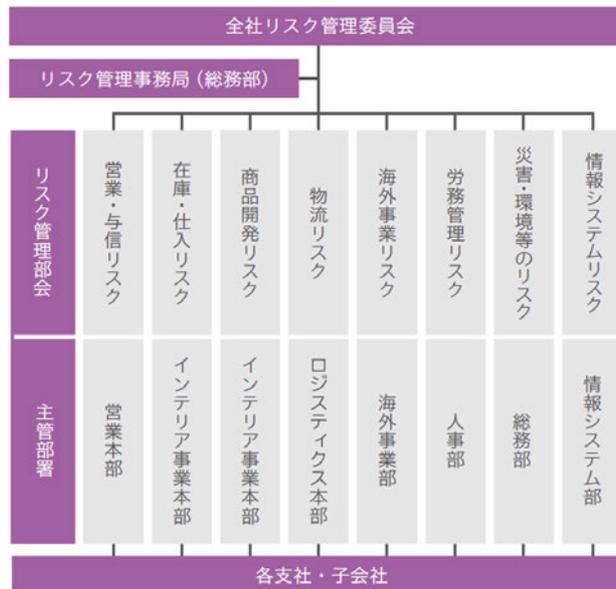
当社ではISO14001の認証を取得しています（認証範囲の従業員比率38.5%）。環境マネジメントシステムを統括する環境ISO管理責任者のもと、これを補佐するISO事務局を設置し、各事業所において環境活動を実施しています。



※ ISO14001の認証範囲（本社、中部支社、中部ロジスティクスセンター）

気候変動／環境リスクマネジメント体制

当社では、気候変動を始めとする環境リスクを事業運営に障害を引き起こすリスクとして考えています。特に気候変動の原因となる事業活動に伴うGHG排出量を管理し、目標値を設定して排出量低減活動を行っています。その活動の進捗状況は、災害等リスク部会からリスク管理委員会に報告され、さらに取締役会においてリスク管理委員会から報告、管理監督を受けています。



サプライチェーンマネジメント

当社の事業活動は商品開発・流通を主体としています。

商品製造については仕入先に委託していますが、高品質で環境に良い商品を提供するために、商品のライフサイクルを通じた環境負荷低減活動を継続する必要性があると考えています。

これまで当社は、当社基準の評価項目に沿って仕入先評価と工場運営の改善・環境対応・商品の品質向上につなげてきました。また、中部ロジスティクスセンターIIに環境試験室をはじめとする試験施設を設置の上、適切な品質管理体制を整備しています。現在、当社ではサプライチェーンにおけるCSRへの取り組み強化に向け「サンゲツCSR調達方針」および「サンゲツお取引先さま向けCSRガイドライン」を策定、仕入先の対応状況についてアンケート調査を実施し、必要に応じて訪問指導を行うなどの対策を講じることで、環境対応についての体制づくりを進め、環境負荷低減を推進しています。

マテリアリティ（重要課題）

当社では、環境面における重要課題を以下の5つと捉え、それぞれの課題に対して取り組みを行ってまいります。

重要課題

地球温暖化防止

課題	GHG排出量の削減/エネルギー使用量の削減
2019年度目標	GHG排出量：35%減（売上原単位2010年度比） エネルギー使用量：33%減（売上原単位2010年度比）
2019年度実績	GHG排出量：45.3%減（売上原単位2010年度比） エネルギー使用量：34.7%減（売上原単位2010年度比）
2020年度目標	GHG排出量:5%減（2018年度比） エネルギー使用量：2%減（2018年度比）
中長期目標	GHG排出量：2022年度10%減、2030年度30%減（2018年度比） エネルギー使用量：2022年度4%減（2018年度比）

※ ※エネルギー使用量はサンゲツ単体のスコープ1&2を対象としています。

環境負荷の把握

課題	サプライチェーンの環境負荷の把握
2019年度目標	単体：スコープ3開示、グループ会社：環境基礎データ把握
2019年度実績	スコープ3：399,393t-CO2、一部グループ会社の環境基礎データ把握
2020年度目標	サプライチェーンGHG削減に向けた体制の構築、自社の水利用把握と対応

資源循環

課題	廃棄物総廃棄量削減/リサイクル率の向上
2019年度目標	廃棄物総廃棄量：15%減（売上原単位2010年度比） リサイクル率：70%
2019年度実績	廃棄物総廃棄量：5.5%増（売上原単位2010年度比） リサイクル率：80.1%
2020年度目標	廃棄物総廃棄量：2%減（2018年度比） リサイクル率：81%、見本帳リサイクル体制の構築
中長期目標	廃棄物総廃棄量：2022年度4.0%削減（2018年度比） リサイクル率：2022年度83.0%

生物多様性と化学物質による汚染の回避

課題	化学物質の適正管理
2019年度目標	ホルムアルデヒド放出量の計測・監視継続、化学物質の使用状況の把握
2019年度実績	ホルムアルデヒドの継続・継続監視完了、仕入先に毒物及び劇物の使用状況を確認
2020年度目標	ホルムアルデヒドの継続監視、管理対象物質の把握、サプライチェーン化学物質管理

商品を通じた地球環境保全

課題	省エネ、省資源、ロングライフ商品の開発
2019年度目標	環境配慮商品の開発、商品環境情報の数値化と開示
2019年度実績	光拡散壁紙でのCO2削減量の開示、カーペットタイルNT3000ecoでのエコマーク取得、再生糸100%カーテンの開発
2020年度目標	環境商品売り上げ比率の把握、環境配慮商品の開発